

道徳のひろば ①

道徳的価値！「節度・節制」

6年生のM君は、1年生の時から使い続けた筆箱を今でも、大切に使っています。その話を宗崎先生から聞いてびっくりしました。本人も家族も本当に偉いなあと感じました。お店に行けば、銘柄入りのいろいろな筆箱がたくさん並んでいる時代で、すぐ新しいものにかえたくなるのが現実の社会のように感じますが本当にすごいことだと思います。ランドセルは、ほとんどの子どもが卒業まで使いますが、毎日使う小さな勉強道具は珍しいことです。

素晴らしい子どもが育っていることを嬉しく思います。



本校は、道徳科の推進校として今後2年間取り組みを推進していきますので、保護者・地域の皆様にも道徳科の学習内容について、少しでも理解いただければと思います。下記の通り簡単に説明させていただきます。

本校の道徳の学習は、たくさんの内容項目（下記参照）がありますが、それらを年間34～35時間で学習しています。

本年度は、道徳教育推進教師が配属されましたので、全学年の全道徳授業に参画し研究することになります。



大切な筆箱

◆道徳科は、A・B・C・Dの4つの内容があります。

A：主として自分自身に関する事

「善悪の判断、自律、自由と責任」「正直、誠実」「節度、節制」「個性の伸長」「希望と勇気、努力と強い意志」「真理の探究」

B：主として人との関わりに関する事

「親切、思いやり」「感謝」「礼儀」「友情、信頼」「相互理解、寛容」

C：主として集団や社会の関わりに関する事

「規則の尊重」「公正、公平、社会正義」「勤労、公共の精神」「家族愛、家庭生活の充実」「よりよい学校生活、集団生活の充実」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」「国際理解、国際親善」

D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

「生命の尊さ」「自然愛護」「感動、畏敬の念」「よりよく生きる喜び」

◇本校では、上記の内容をもとにして、小学校の学習は、1・2年で19項目。3・4年生で20項目。5・6年生で22項目の学習を、読み物資料を中心に知識理解を深めながら道徳的実践に繋がるように指導しています。

今年度、学校便りに「道徳のひろば」を設けて道徳教育について啓発していきたいと考えています。未来の子ども達の「人格形成」を目指し、学校・家庭・地域が連携して「心づくり＝人づくり＝地域づくり」を推進していきましょう。

